



編集：飯能消防団広報委員会
発行：平成12年11月15日

かわらばん



特集 熱戦!! ポンプ操法競技大会

**HANNO VOLUNTEER
FIRE DEPARTMENT**

— プレゼントクイズ —

平成12年度

第 **7** 号

操法競技大会

FIRE DEPARTMENT



● 消防ポンプ操法

七月九日、今年は二年に一度の操法の競技大会が行われ、市内各分団から32チームが参加し、その技とスピードを競いました。

市民の皆さんは消防ポンプ操法をご存じでしょうか。消防団員は地域防災の担い手として、火災があれば真っ先に現場に駆けつけ、消火活動に従事する責務を負っています。消防ポンプ操法とは、消火活動に必要な心・技・体の基本について養い、的確、迅速に消火活動を行うための操作要領、空手で言えば「型」にあたるようなものと言えば分かり易いかもしれません。



各分団では、何ヶ月も前から競技大会に向けて操法の訓練を始めました。



第10分団3部

飯能大会を勝ち抜き、支部大会で見事優勝を果たした十分団、N選手に聞きました。「防災センターでは連日熱のこもった訓練が行なわれ、支部大会直前には、鬼気迫る雰囲気がありました。支部を勝ち抜き出場した県大会で感じた事は、もはや飯能消防団の代表として出場したならば、全国大会出場も夢ではない、それ程頑張ったのだという事です。我々は、県大会三位でしたが良い思い出と経験ができ、次回には是非、県代表として、全国大会で優勝を狙いたいと思います。」この様に、操法競技大会に向けて、各分団、

一丸となり頑張って来たわけですが、その影には地域の人々や家族の協力、応援があったことを忘れてはいけません。あらためて御礼申し上げます。

● 父さんの運動会 （このはボクが、お父さんが応援だ!!）

本当の仕事と消防団の仕事と両方あって、操法の練習の時は大変だなあと思いました。お父さんもがんばっているんだね。火事の際には、消防車に乗ってすっ飛ばして行くのがカッコイイよ。制服や作業服もとてもカッコイイと思います。お父さん、消防団ってカッコイイからやめないでね。

双柳 大沢 啓祐 六才



「パパがんばって!!」

七月九日、あつい、あつい日でした。お父さんが出場するポンプ操法大会へお母さんと妹と応援に行きました。お父さんが消防車に乗っている姿や、大きな声を出して水を出している姿は、超カッコイイかったです。操法大会はまるでお父さんたちの運動会みたいで、私は一生懸命に応援しました。お休みの日に消防団のお仕事に行ってしまうとちよっぴりさみしいけど、カッコイイからがまんするよ、お父さん。

上直竹下分

浅見 郁佳 五才



熱戦!!ポンプ HANNO VOLUNTEER

私の夫は消防団

第七分団 Aさんの奥様

いつも消防団活動ご苦労様です。

操法と言えば訓練は夜遅いというイメージですが、選手の方達もお仕事の後の訓練はさぞかし大変な事と存じます。皆さん入団のお誘いがあつた時は正直「めんどろだな」と思った方も多いと思います。しかし、恐るべし消防団！一年も経てばサイレンの音に敏感に反応し、ふり返ると作業服で出勤して行く姿。団員の一人としての責任感と使命感が自然と身に付いているのです。そして操法大会ともなれば腕の見せ所。やるからには入賞目指して訓練。訓練。

私も大会を見学してみても、「帰りが遅くて…」などと言つては申し訳ない程に、すばらしいチームワークと機敏な動作に感動し、今の私にはあれだけ夢中になれる物はないなと羨ましくなり、あらためてほれなおしました。

これからも消防団活動の大

切さを理解し、応援していきたいと思ひます。



今年には猛暑の夏でした。飯能市の各分団にとつては、より一層暑い夏だったのです。

消防団員としての技術や精神の基本を身につけることが消防ポンプ操法の目的です。

しかしそれ以上に大切なことは、競技大会に向けての訓練の過程で、各分団のチームワークや個々の団結力がより一層強まっていく、有事に、大きな力となる事と信じます。

第六分団私設応援団

「バラバラバツバパー」操法大会当日、競技が行われる直前、六分団の待機するテントより力強い応援ラッパの音が防災センターにこだました。

六分団では数カ月にわたる血のにじむような操法訓練のあいま、私設応援団を組織していたのだった。

ラッパを吹いたのは、二部の嶋崎君。彼は中日ドラゴンズの熱狂的ファンであり『竜心会』というドラゴンズの応援団にも加わり、東京ドームでラッパを吹いている。

「かっとなつて六分団。ラッパ倒せーあー!!」この掛け声で士気も高まり他の分団のテントからは羨望のまなざしで見つめられた。

団員一丸となつて大会に参加したことは、団員の思い出に深く刻まれ、と同時に、次回こそ支部大会出場を固く心に誓つたのであった。

飯能消防団長 小久保勝弘
飯能消防団結成以来、50余年の歴史の中で、今年ほど「全国操法大会出場」を、目指した年はなかつたのではないでしょう。か、災害発生事に、最前線で消火活動にあたる、ポンプ車（小型）の、基本操作の技術を競う大会。残念な結果になつたとは云え、埼玉県下で操法技術のトップクラスに位置づけられている事は、間違いない事実です。

次は全国大会（平成16年）出場に向かって、訓練に訓練を重ね、災害に強い団員の育成に励み、地域防災を支える戦士としてがんばります。

市民の皆様、今後共、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

消防団では、夜警を行っています。ご協力をお願いします。



消防団では、夜警を行っています。ご協力をお願いします。

11月25日(土)午前8時より防災センターで飯能消防団特別点検が行われます。ぜひご来場ください。

消防は団と常備

埼玉西部広域消防本部消防長

神田 正之



埼玉西部広域消防が、各方面のご理解、ご支援を賜わりながら発足し、早五年が過ぎようとしています。

お陰様で総じて順調な推移をして居りますことに、感謝を申し上げます。

特に、団との関係において常備消防と一体となった活動を、伝統の上に更に強固にされていること、また今、団の組織見直しに真剣に取り組まれていること等、今や全国の注目を集めて居ります。

行政視察が、未だ後を絶たないことは、その証と想って居ります。

飯能消防団が、いつも地域から信頼され愛される団でありますよう念じて止みません。

消防団の誇り

第三分団 新入団員

下川 高広

私が消防団に入団する事が決まり、ある日、火事場に野次馬として駆け付けた時、消防団員の決死の活動を見て心を打たれました。私でも団員の方達の力に少しでもなればと思ひ、自分の身を捨てて市民の命を守ると言う事を実感させられました。

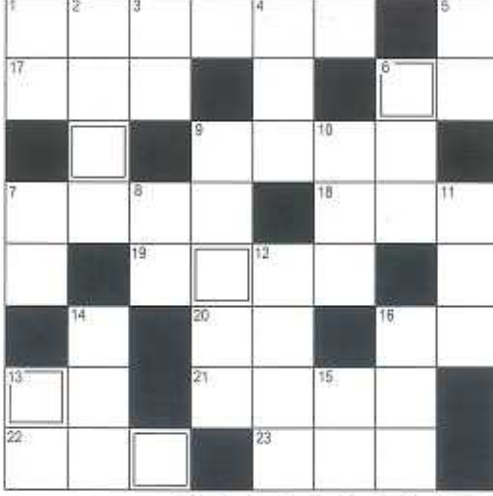
先輩方の訓練が火事場では必要且つ、重大な物だと思ひ知らされました。その為には訓練で鍛え、一歩ずつ先輩方に近づける様努力し続けたいと思ひます。

消防団に入団して半年が経ち、消防団に対する誇り、そして市民の平和を守ると言う事が自分には新しい任務と感じてきた次第です。



★ HANNO VOLUNTEER FIRE DEPARTMENT ★

消防団 プレゼントクイズ クロスワードパズル



答え ○○○○○○

問題 タテのカギとヨコのカギをたよりに、クロスワードパズルを解いてください。すべてのマスを含めて、五つの二重マスの文字を並べると、消防団の行事の一つになります。

- タテのカギ**
- キャンディーズは、ラン、スー、○○
 - アリババと40人の○○○○
 - 五月に飾るのは○○のほり
 - 現代的なこと、○○○アート
 - 開け!!○○
 - 携帯○○○
 - 寝れをとるには、ゆっくり入りたい
 - 入りTシャツはオシャレ
 - 蜂蜜のことを昔の人はこう言いました
 - 水が固まったもの
 - のような赤いホッペ
 - 君は覚えているかしら～あの白い○○○○
 - 目元の○○、みけんの○○
 - ふりかけは○○○が一番!
 - と香り
 - ラテンアメリカの音楽の一種

- ヨコのカギ**
- お供はスケさんカクさん
 - 嘘、○○を流す
 - 夜行性の鳥です
 - 1997年中国に返還されました
 - 花札の役「イノ、○○、チョウ」
 - 今年演歌で大ヒット
 - ニュージーランド生まれのフルーツ
 - 初めと○○○
 - 英語でコックローチ
 - 鮭、これはなんという魚?
 - ホヤホヤ
 - カツオ君の妹
 - 団長の名字は?

正解者の中から
30名さまに

正解者の中から30名様に、オリジナル携帯ストラップをさしあげます。官製はがきに、クイズの答えと、◎・住所・氏名・年齢・職業(学年)・電話番号、消防団に対するご意見ご感想を明記して、下記の宛先までご応募ください。
〆切り：平成13年1月7日(日)出初式まで。
宛先：〒357-0015 飯能市大字小久保291番地 防災センター

編集後記 / 最近飯能地域

でも、不審火の疑いの火災が発生してまいります。各ご家庭内でも予防消防に心がけてください。

市民の皆様には、団員が編集しました紙面を通して、私達の活動を少しでもご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私たちは、災害のない明るい二十一世紀を築くため、これからも頑張っていきたいと考えています。

編集委員

- 副団長 黒米 正幸
- 団本部分団長 大澤 正欣
- 団本部班長 陣野 秀幸
- 第一分団 横田 圭司
- 第二分団 大野 悟
- 第三分団 鈴木 清志
- 第四分団 宮下 彰夫
- 第五分団 森田 高広
- 第六分団 内沼 貴明
- 第七分団 新井 安典
- 第八分団 的板 幹雄
- 第九分団 加藤 誠一
- 第十分団 采沢 一幸
- 題字は吉田行男様にお願いいただきました。